

一緒に高知の「暮らし」のこと

FUTAGAMI

いえとにみ

徹底解剖 薊野モデルハウス「PORTA」
——こころ豊かな暮らし × 住み継ぎ、受け継ぐ家づくり——

特別インタビュー
住み続けられる家と庭づくりへの扉

コマリゴト 解決し隊!
「フタガミHOME&GARDEN 現場監督」

団地の清掃活動で地域をサポート

こうち 訪ね歩き「土佐和紙」

No.2

夏号
2021.8

TAKE FREE



なんでも相談
FUTAGAMI

ここがポイント!住まいのメンテナンス～外壁リフォーム編～

“外壁の塗り替えは、10～15年に一回が目安”

晴れの日が多い夏、気温・湿度が安定している秋春の工事がおススメです。

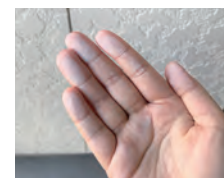
「イエのコマリゴト」のどんなご相談にもお応えできます。

お気軽にご相談ください。お見積もりは無料です。

外壁リフォームについて

〈よくあるコマリゴト例〉

- 外壁に触ったら、塗料がチョークの粉のように付く。
- もらいサビの影響を受けた、傷が入った。
- 外壁が色褪せてきた。



〈どんな対策を行う?〉

- 部分塗装
- 塗り替え
- 張替え工事+断熱工事

外回りの同時点検がおススメです。

外壁の塗り替え工程で建物を高圧洗浄機で洗浄する際、サッシの劣化したコーキングが剥がれたり、古い家だと水切りや換気扇のフードなどが割れることがあります。そのため、屋根やベランダ、雨樋、軒天、サッシ回りなど外回り全体の点検も一緒に行うことをお薦めしています。

施工例



窓口設置店 いえのこと

ハマート薊野店・ハマート朝倉店・ハマート野市店・マルニクエスト古津賀店
ブリコ桧橋店・ブリコ介良店・フタガミHOME & GARDEN

フタガミHOME&GARDEN
インスタ始めました!



FUTAGAMI
HOME & GARDEN

ホームセンター
マルニ

Hamart
Home center

ホームセンター
パワ

ホームセンター
荏

Yellow Hat

MARUNI
GARDEN
for your Botanical Life

84
ガーデン
GARDEN GARDEN

COMO
Life style shop & Dining

ASSIST

IKEDAYA
ハウス直送新鮮品の油田屋

D・ISO
ダイソー

Kōba
フタガミ本社

発行/株式会社フタガミ 〒783-0055 高知県南国市双葉台1
発行日/2021年8月 制作・編集/クリケット「季刊高知」編集部

<https://www.futagami.co.jp/>

フタガミHP 検索



徹底解剖

薊野モデルハウス「PORTA」

——こころ豊かな暮らし×住み継ぎ、受け継ぐ家づくり——

2021年5月25日にオープンした新モデルハウスをご紹介します！



徹底解剖「PORTA」に込められた想い その①

家づくりを追求する「入り口」に

ポルタは、扉という意味のイタリア語です。いろいろな意味が込められていますが、まず、1967年に木製建具の造作から始まったフタガミの原点に立ち返ってものづくりを突き詰めて行こうという意識、そして、これからの新しい家づくりの入り口になりたいという想いが込められています。



徹底解剖「PORTA」に込められた想い その②

「ドア」を開けて次の世代へ

出来る限り長くこの建物の良さを高知の皆様に見ていただけるモデルハウスでありたい。総合展示場では早いところで5年、長くても10年も経たないうちに建物を建て替えなくてはなりません。ここでは、経年変化を楽しむ家を長くご紹介し続けていきます。



次世代に受け継がれる家づくり

家は、造り手の都合で大量生産し、モノのように販売するのではなく、お客様一人一人の暮らしを考え、たくさんの方々がチカラを結集して造り上げていくものであり続けたい。丁寧にメンテナンスしていくことで大切にしていだき、子の世代、孫の世代と三世代以上で使ってもらえる。そんな家と庭づくりを伝えたいと、フタガミは2019年12月に総合展示場からの撤退を決め、新たに注文住宅のモデルハウス「PORTA」をつくりました。

フタガミは建物をつくる事業者として、これからも木の家を施工します。家の構造材に、FSC認証を受けた楠原産のヒノキやスギ材を使い続けます。その結果、森が健全に育ち、森林率84%の高知県の自然が循環するきっかけになればと思っています。

暮らしの本質を考えた時に大切にしたいこと

この建物は経年美化や経年変化を楽しめる、いつまで経っても古びない本物、そしてシンプルで快適な住環境を追求した、4人家族をイメージする家です。『住まい心地』や『心地の良い空間』、『リラックスできる落ち着きのある場所』といった付加価値、耐震や温熱環境などの性能を表す「数値」だけに縛られない本当の家の良さを大切にして造られています。

もちろん性能も最新の技術を導入

設計はあらゆる場所での性能とデザインが計算されています。大きな特徴の一つは、全熱交換による24時間換気と全館空調によって家全体の室温を一定に保つことができる点です。また大窓にはブラインドを外付けし、高知の強い夏の日差しを遮へい・遮熱。逆に冬は窓からの日射熱で得られる暖かさを外に逃がしません。自然エネルギーを利用して暖かく暮らせる工夫があり、さらに薪ストーブの余熱が家全体に循環し、朝まで暖かな状態が保たれると聞くと、冬の暮らしが待ち遠しくなります。

タイルも壁紙も持続可能な社会のために

モデルハウスで使われているリサイクルタイルやDIYで重ね塗り可能な壁紙などの意味ある素材。立ち上げ花壇の使い勝手や、敷地を広く見せるために家と庭の色合いや木目の方向性にしかけられた視覚的なポイント。ほつと落ち着く時間を過ごすための照明の計画……。ここに行けば、たくさんの方とこの家について教えてもらえます。自然素材のものを多く取り入れ、受け継がれる家になっています。

この3月に2つの事業部が統合して建築事業部となり、オフィスもPORTA北側に移転しました。より一層お客様のご要望にお応えできるよう、一丸となってスタートしています。

特別インタビュー

『住み続けられる家と庭づくりへの扉』

庭づくりへの扉

モデルハウスに込められた想いとは？

PORTAの設計に関わったお二人に、新しい扉を開いてもらいました。

PORTAに対するこだわり

——日本は、建築分野においては、世界の中でどんな位置づけですか？

間城 日本は住宅事業においてもかなり独自の文化で、温熱環境という点では世界の中では進歩が遅いんです。

海外は地元の工務店が家を建てていますが、日本では全国展開をする大きなメーカーが多く、家を建てて売っていますね。このハウスメーカーという日本の建築文化の特異性ゆえに業界全体で耐震や温熱環境などの性能を表す「数値」の競争が激化し、お客様の「関心もそちらに向かいがちになっている」と思います。それ自体は良いことですが、そんな中でも、PORTAは「数値」だけでなく、快適な生活や質の高い生活を送る場としての家本来の価値を大切にしたいという想いで設計しました。私自身が建築士として積んできた経験や知識、子育てをする中で体験から感じてきたいろいろな提案を盛り込んだつもりです。

——提案例を教えてください。

間城 例えば、これまでの日本の家づ

くりをしています。

——庭づくりはいかがですか？

スミザー 私の造る庭は、そこで人がゆっくり過ごして欲しい、また、自然を呼びたいという「人も植物も幸せになれる庭」です。今回も人がゆっくり過ごせて楽しめる場所を設け、さり気なく植栽の中に食べるものも取り入れました。

また、微生物を大切にして肥料や農薬を使わず、虫やカエルなどの自然の生き物をたくさん呼んで、花々が咲く楽しい空間づくりをしています。

経年変化を楽しむポイント

——お客様にどういった変化を見て来て欲しいですか？

スミザー 多年草は2、3年経つと一回り大きくなりますし、つる性の植物はパーゴラに絡みつき額縁のように。木が大きく育って高さが出てくると立体的な庭になります。現在は、そんな将来を考えて植え過ぎないようにしています。

——どんな木を植えていますか？

スミザー 木は割とバサツと強剪定をしても新芽を出せる木を入れていきます。剪定を繰り返せば木は成木にならず若いままで、人は剪定をするたびに薪を得ることができます。いちばん大変な薪割をせずに済みますね(笑)。さらに細い枝はチップにして堆肥を作り、土の上に敷くと水の蒸発も防げますし、土に直接陽が当たりづらくないので雑草の種が発芽しにくいです。

くりは夏を基準に造られていますので冬の寒さを我慢してきたところがあつたと思います。日本人は精神的な強さでいろんなことを我慢出来てしまえますよね。けれど、もつと快適さに対する考え方を進化させても良いのではないかと思います。

——設備には海外製品を使われているそうですが、なぜですか？

間城 適材適所で、国内外を問わず使い勝手の良い設備を用いています。高級志向ということではなく、世界各国の本当に良いものを紹介すること、きちんと国内の家づくりについてお話ししたい。本物の家づくりを伝えていきたいと思っています。

——では、建築分野での先進国は？

間城 温熱環境に関する基準ではドイツです。断熱や省エネの等級などを定める建築法においては、日本における最高ランクぐらいのものが標準とされています。日本の建築基準は、中国、韓国にも随分遅れをとっています。ですので、私たちはお客様が本当に求めているものは、日本の建築基準法のもつと上にあるはずだと考えて家づ

徐々にミミズがチップを引っ張って穴を空けながら下に落ち、また上がることを繰り返すと、どんどん土も良くなっていきます。

——循環するんですね。

スミザー 植物はただ見て楽しめるだけではなく、他の生き物を元気にするための材料となり、人の使えるものも出してくれるはず。循環があることが私は理想的だと思います。

——お家に関してはどうでしょう？

間城 モデルハウスですのでライフスタイルがにじみ出てくることはいないですが、キッチンから出たところでハーブを摘んで料理をする生活など、実際に使うイメージシーンを季節ごとに皆さんにご提案していきたいですね。お庭でどう過ごすかなど、生活が連想できて「なんか、こいいいね」と思ってもらえるとうれしいです。

いろいろな仕掛け、材料の選定、造り方それぞれのこだわりもぜひ、見に来て欲しいです。

——ぜひ。ありがとうございました。

「つくる」「ととのえる」「なおす」で、家と庭のことをずっとお手伝いいたします。

～フタガミの心豊かな暮らしをご提案するショーケースへ、いつでもお訪ねください～

PORTA (高知市) ※要予約 TEL:088-855-6833
フタガミHOME&GARDEN薊野モデルハウス。お越しをお待ちしております。

ハマート薊野 (高知市)
DIYラボ／リフォームカウンター。手作業を加えて、愛着のわくお家づくりを。

イエリノモデルハウス (高知市) ※要予約 TEL:088-855-6833
築50年のリノベーション住宅をご覧ください。

マルニガーデン、84ガーデンガーデン (南国市)
ポタニカルライフをご提案します。庭施工のご相談、モデルガーデン見学もどうぞ。

COMO (南国市)
商業施設&GARDENのリノベーションモデル。ランチをしつつ、お寛ぎください。

フタガミ本社オフィス「Kōba」 (南国市)
※要予約 TEL:088-856-6801
プレカット工場をハウスinハウスという建築手法でリノベーションしたオフィス兼ショーケースです。

※見学の際は、事前のご予約をお願いいたします。



有限会社ガーデンルームス

ランドスケープデザイナー、
ホーティカルチャリスト(園芸家)

ポール・スミザー 氏(右)

PORTAの植栽プランを担う。
イギリス生まれ。英国王立園芸協会で園芸とデザインを学ぶ。1997年、東京・三鷹市にて有限会社ガーデンルームス設立。目的を踏まえ、その土地の風土や歴史、環境条件に合う植物や材料を使うことを基本にデザインおよび植栽プランニングを行い、人にも自然生態系にもやさしい持続可能な環境づくりを目指している。現在は山梨県八ヶ岳南麓を拠点に活動している。

株式会社フタガミ

フタガミHOME&GARDEN
二級建築士／クリエイティブディレクター

間城 貴哉(左)

PORTAの建物进行設計する。
専門学校卒業後、土佐派のアトリエ系建築事務所勤務、イタリア留学を経て独立。恩師の紹介でフタガミの建築士となり、リフォーム・新築物件の設計デザインに携わる。

※取材・撮影場所／フタガミHOME&GARDEN薊野モデルハウスPORTA

コマリゴト解決し隊！

今回は、お客様の家のリフォームに
 長年携わってきた現場監督に工事に関する
 質問に答えてもらいました。

Q 現場監督のお仕事とは？

A リフォームの現場監督は施主様
 のご要望を聞く最初の打ち合わせの
 時から営業・建築士とともに同席し
 ます。私は、主にリフォームを担当し
 ています。例えば荷物を移動させな
 がら工事をやって欲しいなど、工事の
 進行に関わる部分で施主様のご要望
 にどう対処すればよいか、知恵を絞る

ます。

また、施工業者を束ね、工事の進行を
 管理します。工事中、ご近所の方にこ
 迷惑をおかけすることのないよう気を
 配るのも大事な役目です。

Q リフォーム工事をするには、 引越が必要ですか？

A 耐震工事のみを行う場合は、大半

FUTAGAMI
HOME & GARDEN



今回のプロフェッショナル
 建築事業部 現場監督
 中越 正範

は施主様が住まいのままで荷物を
 移動しながら工事を行うことが出来
 ますが、それでも一つの施工場所につ
 き3回の荷物移動を必要とします。
 耐震と併せて改修工事を行う時は、
 工事の大小がありますが、別の場所
 にお引越しいただいたほうが施主様
 にとってもストレスが溜まらず、工事
 もスムーズに進めることが出来ます。
 使えるものが使えないとなると本当
 に「ご不便を感じられると思います」。

Q リフォーム工事の期間目安は？

A 施工内容とお宅の状況によりま
 す。今回の築30年ほどのお宅を例に挙
 げますと、工事内容としては、家屋内
 側をほぼ全部壊して間取りを変更し、
 天井も壁もすべて張り替えるという工
 事としては大きなリフォームをしまし
 た。本来は施工に4カ月は欲しいとい
 ころでしたが、お引越をされての工
 事のため、どうしても3カ月内に仕上
 げて欲しいとのこと要望を受け、なん
 とか頑張りました。

いただけたことに加え、内装中心の工
 事のためお天気に左右されにくく工
 期を短縮することが出来ました。もち
 ろん、大工を始め工事に入る業者さん
 に融通を効かせてもらった上での話
 ですが。
 弊社には事故予防のため相互注意喚
 起を行う安全協力会という工事関連
 業者の集まりがあります。施工時は、
 この会の中の業者の方をお願いするこ
 とが多いです。信頼関係が築けていま
 すし、既知の間柄のため業者間のやり
 取りもスムーズで段取りが良く、工期
 短縮も受け入れてもらいやすいです
 ね。助けられています。

Q フタガミの家づくりの特徴は？

A 家というのは、住んでいくうちに
 改善したいところが出て来ては直す
 ものだと思いますので、「建ててから
 がお付き合い」だと思っています。そ
 の都度、住み心地を良くするお手伝
 いをさせていただければ嬉しく思
 います。
 おかげ様で、弊社の建築の仕事はお客
 様の繋がりの中からご紹介で依頼があ
 ることが多いです。数年前には高知市
 朝倉で施工したお宅の隣の方が「依
 頼くださり、お隣続きで3軒のリ
 フォームを担当させていただいたこと
 もありました。
 常に正直に。ダメな場合はダメである
 こともお伝えするように心がけ、その
 上でご信頼いただければと思っています。



書斎の棚は造作し、隣の和寝室との間の壁は防音対策
 をしました。

私たちの社会貢献活動 フタガミSDGsの取り組み

団地の清掃活動で 地域をサポート

住み続けられる
 まちづくりのお手伝い

2017年6月より始め
 た高知市加賀野井団地の
 清掃活動は、団地へ建築
 事業部のモデルハウスを
 オープンさせたことを機
 に地域に対する感謝の気
 持ちを込めて開始しまし
 た。市内でありながら過
 疎化が進み、空き家も目
 立つようになった団地に
 少しでも活気が戻るよう
 清掃を通じてサポートさ
 せていただいています。
 毎月第一金曜日の朝、通勤
 する皆さんのお邪魔にな
 らないよう、7時45分頃か
 ら30、40分程度。現在、建
 築事業部と本社の社員20
 名が参加し、二丁目と
 二丁目に分かれて掃除を
 しています。

掃除を通じて気付かされる

ゴミの落ちていない綺麗な団地です
 が、道に散り敷く花や落ち葉、特に
 ご高齢の方には負担となる段差の
 大きい側溝に落ちた枯れ葉等を清
 掃していると喜ばれることが多く、
 励みとなっています。
 会社や仕事のことを尋ねられるよ
 うにもなりました。また、参加する
 社員の中には、「自分に加賀野井団



(写真は二丁目班です)

地に住んでいながら灯台下暗しで
 見えていなかったところが見えて来
 ました。」という建築士や、「実は朝
 が苦手ですが、掃除に出てきて有難
 うと声をかけてもらうことが仕事
 現場に向かう心の切り替えになっ
 て、逆にこちらが有難く感じていま
 す。」という若手現場監督も。
 自身の始業と重なる朝、時間捻出
 に苦労することもあります。掃除
 をすることで、かえってこちらが
 磨かれていると実感しています。

こうち
 訪ね歩き
 土佐和紙

オランダ人の
 匠からの提案



土佐の匠の一人、和
 紙職人のロギール・
 アウテンボーガルト
 さんは、オランダ出
 身、40年前に和紙に
 魅せられて来日。現
 在は、四万十川源流
 近くにある工房で
 和紙を漉いていま
 す。日本の伝統的な
 ものづくりの中でも
 日々自然の変化を
 受け入れてつくり

上げる和紙。彼は、高知の里山でつくられた和紙は、
 人と自然がうまくバランスを取ってつくられたもの
 であることを感じると言います。また、癒しや幸せ、
 安心感はもちろん、一千年の和紙の歴史の中に人がい
 ることを感じ取れるアイテムではないかと。

また、植物を通じて和紙に興味を持って欲しいとい
 う思いから、お庭に椿や三桠の木を植える提案活動
 を続けています。個人宅だけでなく、高知オリエントホ
 テルさんや横山産業さんの屋上でのテストプラント
 も始まっているそうです。産業としての和紙の衰退、
 椿や三桠などの和紙原料生産農家の急速な減少は憂
 うべき問題になっている現状があります。

皆さんのお家に和紙はありますか？オブジェとして
 和紙一枚からでも生活に自然の温もりを取り入れて
 みませんか？和紙からのメッセージを感じつつ。

